

札幌市立平岸中学校の取組

1. 研究のねらい

本校が、環境教育に本格的に取り組み始めたのは、平成 23 年度のことである。そのきっかけは、平成 22 年度末に本校屋上に「太陽光発電パネル」が設置されたことと、「札幌らしい特色ある学校教育」について本校はどのように行えばよいのかを検討し始めたことによる。「太陽光発電パネル」については理科や技術・家庭科の授業において直接的な教材になりうることに加え、未来を拓く子どもたちにとって必要不可欠な環境問題やエネルギー問題に関する知識を獲得させ、環境の保全につながる行動化を促す教育を行いたいとの願いから始まっている。

平成 23 年度から今年度まで、4 カ年連続で、「札幌らしい特色ある学校教育」の環境教育についての研究実践校として取り組んできた。日々、様々な業務で多忙な中、本校らしく、そして「自然環境」や「環境問題」に関心をもち、現状を正しく理解し、「環境保全」に積極的に関わる子どもたち（行動化を促す）を育成することをねらいとしている。環境教育を通して、環境と自分との関わりや自然環境そのものについて思考すること、自分はどのように行動すべきかを判断することなど、すなわち根拠をもって自分なりの意見を言うことができる生徒を育てたい。これらは、子どもたちの「思考力・判断力・表現力の育成」につながると考えている。

2. 取組内容

(1) 教職員による環境教育の取組

①本校の環境教育の定義と内容の検討

職員会議等で本校の環境教育とはどうあるべきか、環境教育のねらい、どのような生徒を育てたいのかを議論した。その結果、次のような内容を本校の環境教育と定義した。

○本校における「環境教育」の定義 ～教科や特別活動による学習を中心に～

- I ; 「環境」とは何かについて
- II ; 「自然環境」そのものについて
- III ; 「環境問題」にはどのようなものがあるのか
- IV ; 「環境問題」と人間生活の関わりについて
- V ; 「環境保全」に関する活動にはどのようなものがあるのか
- VI ; 「環境保全」に関する新しい技術はどのようなものがあるのか 等の学習

具体的には、理科、社会科、技術・家庭科を中心に環境問題や太陽光パネル、再生可能自然エネルギーの活用などについての授業が行われた。また、保健体育科、国語科、英語科においても環境問題、エネルギー問題を題材に実践が行われ、いろいろな教科での学習が模索された。

②教科指導における環境教育のあり方の研修

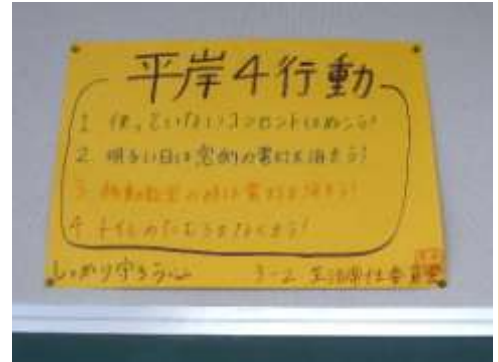
本校の環境教育については、教育課程検討委員会が推進の中心になっている。教育課程検討委員会から、昨今の環境教育の実践や動向などの最新の情報を提供している。また、年度末には、本校の環境教育の実践内容をまとめ教職員で内容や成果と課題を共有している。また、生徒にアンケートを実施して環境教育について評価するための材料の一つにしている。

(2) 生徒の活動、取組

①生徒会を中心とした活動

生徒会では、古紙回収、ペットボトルキャップ回収、節電行動などの呼びかけを行っている。特に節電について、学校内でできる行動を全校生徒に募集し、それを集約したものを「平岸4行動」として全校生徒に実践を促している。「平岸4行動」とは、

- 1 教室内でつけていない電気製品のコンセントを抜こう
- 2 明るい日は、教室内の窓側の電灯を消そう
- 3 移動教室のときは、教室の電灯を忘れず消そう
- 4 トイレのたむろをやめよう（人感センサー付き電灯のため）



②エネルギーの「見える化システム」の活用

本システムは環境局が本校に設置した、電気使用量が常にディスプレイに表示され、電気エネルギーの節約につなげることのできるものである。理科の授業において、本システムを活用した授業を行っているが日常的には1階玄関ホールでのディスプレイで全校生徒がいつでも確認できるようになっている。太陽光パネルでの発電状況も監視できるため、生徒の意識を高めるために役立っている。さらに、関心を高めるために、全校生徒を対象に「環境クイズ」を実施している。これは、本システムや太陽光パネル発電状況監視のディスプレイを見ることで解答できる内容のものである。提出率も高く、楽しく環境問題について考えることにつながっている。



3. 成果と課題

(1) 成果

- ①教科指導において環境教育を行うことが定着してきている。あらゆる教科でその可能性を模索している。
- ②旅行的行事や特別活動においても環境教育を意識した取組を行うことができた。
- ③生徒会による環境保全に関わる活動が効果をあげ、明るい日の教室窓側の電灯を消すなどの行動が定着している。
- ④環境クイズの実施によって、太陽光発電監視パネル（ディスプレイ）を日常的に見る姿が見られる。
- ⑤生徒アンケートから年々環境問題に関する意識が高まってきていることが現れており、これは社会情勢やメディアからの情報も関係していると思われるが、本校の実践の成果とも捉えている。
- ⑥本校実施のアンケートやkidsISO取得プログラム、札幌市温暖化対策推進計画に対するパブリックコメントの記述内容から、生徒と共に保護者、家庭の、環境問題に関する意識が高まっていることが伺われる。

(2) 課題

- ①各教科の指導を中心の様々な形の環境教育の実践がなされているが、どの学年でどの程度の環境教育を行うべきかといった本校における環境教育の系統性が確立されていない。できれば、環境教育のカリキュラム的な指針を学校としてまとめたい。
- ②活動のマナー化が見られ、環境教育に対する新たな取組、新しいアイデアが望まれる。